

# 矢田川の水質調査

カメと水質の関係性



チーム TURTLE

## 1. はじめに

矢田川は、愛知県瀬戸市の海上川と猿投山の赤津川が合流して矢田川の源流となり、さらに瀬戸川と合流して矢田川となります。その後、香流川と合わさり、最後には庄内川と合流します。

今回、矢田川の大森インター近くから千代田橋までの約3kmの辺りを調査しました。付近には住宅が多く、一部には田んぼもあります。

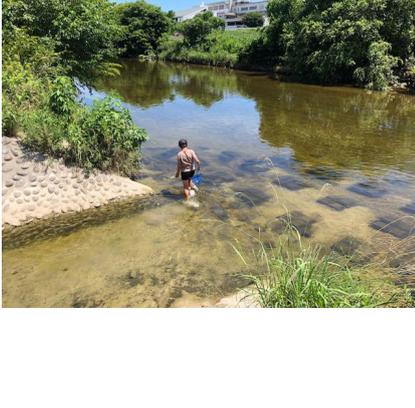
普段、川に遊びに行くときに、アカミミガメやクサガメや日本在来種のイシガメなど色々な種類の亀を見かけます。しかし、場所によって見かける亀の種類が違うことに気づいたので、川の水質と亀の種類について調べました。



## 2. 調査地点について

3つの調査ポイントを選びました。この3つの地点を選んだ理由は、よく見る亀の種類が違うからです。第①ポイントはアカミミガメ、第②ポイントはイシガメ、第③ポイントはクサガメ、をよく見ます。

下の写真は3つの調査地点です。

第①ポイント	第②ポイント	第③ポイント
		

## 3. 行った調査

6回に分けて調査をし、内1回は水質の調査をしました。

また、調査した時間は、生き物が活発な時間だろうと考えて朝6時～7時台にした。

- ・ 亀の計測(7回)
- ・ COD パックテスト
- ・ 流速テスト
- ・ 透視度
- ・ 生物調査



## 6. 水質調査結果

調査実施日：8月2日（火）

	第①ポイント	第②ポイント	第③ポイント
透視度	30cm	40cm	30cm
水のにごり	なし	なし	なし
臭い	少し生臭い	少し生臭い	少し生臭い
泡	少しある	なし	なし
COD	26mg/L	34mg/L	70mg/L
流速	0.25m/s	0.14m/s	0.17m/s

## 7. 分析

- ・アカミミガメは、どのポイントにもいっぱいいた
- ・第①ポイントは、他のポイントに比べてアカミミガメが特に多かった
- ・クサガメは、どのポイントでも同じくらいいた
- ・イシガメは、どのポイントにも少なく、第①③ポイントでは見なかった
- ・第①ポイントは、水質が1番良く、流れが速かった
- ・第②ポイントは、水質は第①ポイントより水質が悪く、流れは1番穏やかだった
- ・第③ポイントは、水質が1番悪く、流れは穏やかだった

## 8. 他に観察した生き物

- ・スッポン … たまにいた 日光浴もしていた
- ・オハグロトンボ … 多くいた
- ・鯉 … どのポイントでもたくさんいた
- ・ニゴイ … 在来種 鯉に交じってたまにいた
- ・フナ、タナゴ … たまに見かけた
- ・ヨシノボリ … 水辺の草を網であさると入っていた
- ・オイカワ … 網でとることができた
- ・ナマズ … まれにいた 黒くてひげがあった
- ・雷魚 … まれにいた 小さいものや大きいものもいた
- ・エビ … 5mm くらいの小さくて赤いものがいた
- ・カエル … 声が聞こえた
- ・ウシガエル … 声が聞こえた
- ・オタマジャクシ … いっぱいいてつかまえた
- ・ブラックバス … たまにいた 捕獲はできなかった
- ・カワセミ … きれいな青が目立つ鳥だった
- ・ヌートリア … まれにいた 思っていたより小型だった 親子もいた



## 9. まとめ

- 第①ポイント … 水質が一番良い、でも、流れが速い、アカミミガメがとても多い
- 第②ポイント … 水質が二番目に良く、流れが穏やか、イシガメもいた
- 第③ポイント … 水質が一番悪い、流れは穏やか、イシガメはいなかった

第①ポイントは3つのポイントの中で水質が1番良かったためかアカミミガメの数が一番多かった。

在来種のイシガメも水質が良い場所に住みたいが第①ポイントは流れが速く、穏やかな流れに住みたいイシガメには向かない。イシガメがいた第②ポイントは穏やかな流れだったが水質が悪くてイシガメはガマンしているのだろうと思った。

矢田川を在来種のイシガメが住みやすい川にするために、第②ポイントや第③ポイントのような流れが穏やかなポイントでも水質がきれいになるようにした方がよいと思った。



8月2日(火) 朝日と水質調査